

《青春の歌》 高校生 入選作品

コンクリの階段のぼって見渡せば小さき町と遮るフェンス

岐阜県立東濃フロンティア高等学校 渡邊 達貴

ビル群の中に佇む大きな木鳥の住みかとなってそびえる

岐阜県立東濃フロンティア高等学校 山崎 太樹

起きてたと自分に拍手おくつてもノートの文字は何語だろうか

兵庫県立芦屋高等学校 那波 珠実

まっすぐな道が多くて私たちどこにいるのかわからなくなる

大阪府立今宮高等学校 斎藤 実津子

おしるこを作った父はうれしそうカウントダウン家族と一緒に

三重県立白山高等学校 慶田 あいら

おはようの一言だけど嬉しくて下駄箱前で頬赤らめる

大阪学芸高等学校 榎 菜々実

帰り道友と話しす趣味のこと10分20分ずっと話した

大阪学芸高等学校 西口 梨音

飛んできたとっても高いホームラン見上げるだけでなにも出来ない

大阪学芸高等学校 石井 聖弥

製図板朝日照らすは何度目か夜は続かず提出せまる

岐阜県立工業高等専門学校 中村 理子

友の声人ごみの中かき消され君の声だけ拾うこの耳

岐阜県立工業高等専門学校 平谷 奈々

久しぶりばあちゃんか炊く家のご飯やや柔らかめやつぱりこれだ

岐阜県立工業高等専門学校 杉原 綾乃

前霞み作業服にて汗ぬぐいロボットのたためと旋盤まわす

広島県呉工業高等専門学校 加藤 卓也

君の声せみの声にてかき消され縮まる距離と彼女のにおい

広島県呉工業高等専門学校 大原 怜子

立ち止まりしゃがみすわると見えてくるアリの行列広がる大地

広島県呉工業高等専門学校 富岡 武志

入道のごとく膨らむ木の下で友の夏シャツ白く輝く

広島県呉工業高等専門学校 前田 丞

虫の群れ止まらぬ汗と向かい風悲鳴をあげる自転車通学

広島県呉工業高等専門学校 藤野 廉大

通知音に縛られている私たちさながらスマホは“軟禁”錠ね

東京都 学習院女子高等科 井口 実紀

手をつなぐこともできない帰り道小指が触れて離れて触れて

東京都 学習院女子高等科 内田 美鈴

あの角の白い蕾の沈丁花香りの先に我が家の灯り

東京都 学習院女子高等科 石島 瞳子

由比ヶ浜波乗りびとの連なりにいるはずもない君を探して

東京都 学習院女子高等科 榎園 琴音

夏休み立ちはだかるは夏課題やる気の型は正弦曲線

福岡県立城南高等学校 西村 歩

最高の十二分間ありがとう先輩と吹けて幸せでした

福岡県立城南高等学校 濱松 奈央

青い空太陽照らす甲子園一緒に汗かく球児と親父

京都府 京都女子高等学校 宮脇 萌

しゃべることなくて沈黙父との夕食顔見合わせて二人で苦笑

京都府 京都女子高等学校 川勝 美里

夏祭り初めて握るあなたの手他とは違うぬくもりがした

京都府 京都女子高等学校 佐野 文香

夏休み子供に踏まれ耐えている鴨川デルタの飛び石の亀

京都府 京都女子高等学校 大島 未夢

苛責^{いび}る者自省さす者いなければ死なれぬ限り馬に春風

京都府 京都女子高等学校 谷川 育美

われわれは宇宙人だと話してもそっぽむく君僕の扇風機^{こいびと}

京都府 京都女子高等学校 酒井 彩菜

電車に乗れば能動的で受動的進む意欲と流れる景色

京都府 京都女子高等学校 更田 彩音

春の花に桜を挙げる君だからプリーツスカート2回だけ折る

茨城県立下館第一高等学校 大幡 浅黄

見返すと欠伸の音さえ蘇るヒエログリフだ僕のノートは

茨城県立下館第一高等学校 袖山 空大

一瞬でそこにいる人魅了して明るく包む花火が今年も

佐賀県 早稲田大学系属早稲田佐賀高等学校 福田 有紗

過ぎていく夏の裾さえつかめずに空はだんだん蒼くなりゆく

佐賀県 早稲田大学系属 早稲田佐賀高等学校 山口 安希

たこ焼きを食べつつ花火きれいだと話したかった8月5日

大阪府立桜塚高等学校 渡辺 優香

誕生日ろうそく3本消せなくて弟の顔赤くふくらむ

京都府 大谷高等学校 廣瀬 正太郎

嫌いにも好きにもなれぬ人と見た花火の色を思い出さない

宮城県仙台市立仙台高等学校 大森 美南

せつかくの香りの付いたシャンプーも全部無くなるにつくき塩素

京都府立 鳥羽高等学校 松並 愛花

いつからか体育館から鳴ってくる靴の音さえ心地よくなる

京都府立鳥羽高等学校 岩佐 亮汰

好きな人できる前から買ってある今こそ開け少女コミック

京都府立鳥羽高等学校 伊藤 ほのか

この人を好きになつてはいけないと思ったときが恋のはじまり

京都府立嵯峨野高等学校 久田 美海

名作と言われてはじめて気がついた別にそんなにすぐくないやん

京都府立嵯峨野高等学校 北村 柊真

公園でキャッチボールをした君がテレビの中で砂を集める

東京都 学習院女子高等科 小熊 可菜海

君の手からこぼれ落ちてる世界地図指にはうつすらペンだこの痕

東京都 学習院女子高等科 服部 絵里香

湘南を走る車の車窓には海のぞき込む兄弟の顔

東京都 学習院女子高等科 高倉 堇

涼しげなラムネをカラリと飲みほして見上げた空の白がまぶしい

東京都 学習院女子高等科 落合 麻有子

もがいても物語ある本のなかただ歩くだけ十八の夏

東京都 学習院女子高等科 吉葉 陽花

叫びたいこの窓あけて好きだってオレンジ色の私の世界

東京都 学習院女子高等科 南雲 涼

昨日までスイカが住んでたその場所に引っ越してきた梨一家かな

東京都 学習院女子高等科 八代 瑠菜

もし水が全部水銀だったならこころ涙も逃げて行くのに

東京都 学習院女子高等科 神田橋 文恵

暗闇の空いっばいに咲く思いちるなちるなど上を見上げる

鳥取県立八頭高等学校 長治 美濤

舞台裏手足の震え止まらなくても一六秒で前を向く

鳥取県立八頭高等学校 今度 洸

私見て笑ってくれる君を見たふくらんでいく淡い風船

鳥取県立八頭高等学校 森本 陽菜

まっすぐに生きていたくて筆箱に目盛りの消えた定規を入れる

福岡県立猷館高等学校 雪吉 千春

夕焼けの色をしているからだろうわたしはうまく息ができない

宮城県 聖ウルスラ学院英智高等学校 熊谷 友紀子

おはようも言わなくなった友人の響く足音責め立てるよう

福岡県立八女高等学校 坂田 裕美

おしゃべりは咲いては枯れてまた咲いて矢車菊の蒼い夕暮れ

福岡県 福岡女学院高等学校 神野 優菜

手渡しのはさみの取手が向いているまだ私にはチャンスがあるかも

埼玉県立坂戸高等学校 白根 明奈

《青春の歌》 中学生 入選作品

帰り道急に降り出す雨にぬれ走って帰る何だかたのしい

青森県三沢市立堀口中学校 本城 芽衣

春休みのんびりすごすわれを見て何か言いたそうな水槽の亀

青森県三沢市立堀口中学校 中村 咲

教室の机にいくつ残る傷だれかの心のしるしと思う

青森県三沢市立堀口中学校 大澤 優衣

髪の毛を一つに結びさあやるぞ首にふれくる毛先が冷たい

青森県三沢市立堀口中学校 田代 優衣

しなる弓突き進む矢の行く先は雪をすりぬけ白黒的へ

三重県 セントヨゼフ女子学園中学校 西脇 朱音

本物とテレビの花火見比べてベランダと居間行ったり来たり

三重県 セントヨゼフ女子学園中学校 中嶋 未来

最寄り駅車で帰る帰り道母と姉とで月みる毎日

三重県 セントヨゼフ女子学園中学校 細渕 まゆ

鳥の声不吉というが本当は人間のよう話してるだけ

大阪府立長吉六反中学校 日高 なつき

早^はよ起きや知らんであ^はんた早^はよ起きなほんまに知らんって言ってる

京都府京田辺市立 大住中学校 黒木 亮汰

試合前食べて食べて満腹だ手の平にかく「人」という文字

京都府京田辺市立 大住中学校 深江 夢叶

キュッキュなる体育館から響く音ダンクしているあの人想う

京都府京田辺市立 大住中学校 山口 ひなた

試合中飛んでこいと思うのにいざ飛んできたらとまどい落とす

京都府京田辺市立大住中学校 岡田 海斗

気付いたら母の背丈を追い越して見つけてしまった数本の白髪

京都府京田辺市立田辺中学校 芦田 ころろ

小さいころしてもらってた肩車空が近くて大好きだった

京都府京田辺市立田辺中学校 森 琴葉

甘いもの苦手な父が買ってくる家族のための御座候ごきげんよう

京都府京田辺市立田辺中学校 白井 美鈴

水面に空の様子が写りこむ空に飛びこみ空を泳ぐ

滋賀県長浜市立鏡岡中学校 平野 優奈

静かなる闇夜の道にしとしと降りたる雨はかなしくないのか

大阪府堺市立金岡南中学校 後藤 遼太

図書館を出ようと押した自動ドア熱風と蝉の声に押された

東京都 学習院女子中等科 小林 夏実

早朝のプラットホームは穏やかで薄青の空に真白きかもめ

東京都 学習院女子中等科 石垣 すぐ

花は咲く木にあるものは眺められ落ちたものは踏み潰されてる

東京都 学習院女子中等科 笠原 美羽

コンクール今年の夏もひまわり咲けば音楽室でも花が咲く音

京都府京都市立大淀中学校 境田 伊織

朝読書昨日の続きを読んでみるハッピーエンドを期待して

京都府京都市立大淀中学校 小西 由菜

汗ふいてふと土の上ながめると黒い努力家草きれ運ぶ

東京都 学習院女子中等科 福田 千紘

東京が小さく見えて自らも小さく感じる空からの眺め

東京都 学習院女子中等科 山崎 真生

陽光を映した庭のプチトマト先客の鳥夏をついばむ

東京都 学習院女子中等科 駒形 彩葉

水球部青いプールで特訓だ青空さえもプールに見える

京都府 京都女子中学校 西畑 菜々香

ひさしぶりに会った友に背を抜かれとなりで少し背のびする

京都府 京都女子中学校 中原 佑奈

部活後のたそがれ時の赤とんぼバトンの様にクルクル回る

京都府 京都女子中学校 樋口 礼奈

夏空もスカイツリーも入れたくて悪戦苦闘の記念撮影

京都府 京都女子中学校 田中 沙羅

今日だけのたった二分の演舞のため練習時間は何日分だろうか

京都府 京都女子中学校 小澤 珠希

冷蔵庫ビールが一本減ってたらちゃんと父が帰った証

京都府 京都女子中学校 山口 菜南

夫婦喧嘩様子探りにドアの前きこえてきたのは私のはなし

京都府 京都女子中学校 浅井 さくら

熱いのに持ち手の少し下を持つ線香花火を落としたくなくて

京都府 京都女子中学校 谷口 七夕美

残雪も少なくなりゆく富士山の水色の空に同化する日々

静岡市立清水第七中学校 鈴木 耀太

玄関に久々に見るスニーカー帰省の兄のいつもの脱ぎ方

静岡市立清水第七中学校 水谷 梨花子

音もなく青いプールに飛び込めば数秒のうちに光に溶ける

静岡県立清水第七中学校 高 颯太

礼をした瞬間つかむ道着から相手の動き直じかに伝わる

静岡県立清水第七中学校 青木 滉明

学校のプールに鳥が着水し二羽で水浴びする昼休み

静岡県立清水第七中学校 平久江 龍治

踏み込んで竹刀大きく振り切れば面一本の声つき抜ける

静岡県立清水第七中学校 小澤 悠良

27 元素記号コバルトは私の番号親しみがわく

静岡県立清水第七中学校 中村 美晴

カナカナとひぐらしの鳴く道場にパンと響く弓の弦音つるわと

京都府 洛星中学校 佐倉 悠太

「が」と打つと予測変換「がんばって！」母のケータイ励ましの言葉

神奈川県 横浜市立高田中学校 宮口 紗良

高台に震える足を揃え立つ「テイクユアマーク」残る余響

宮城県 仙台二華中学校 横山 慎

背が伸びて鴨居をくぐる癖が付きそれでも髪がかすめる真夏

埼玉県 小川町立檉台中学校 新井 希琉

怒られて反論並べてみた後に間違いに気づくが後には引けず

埼玉県 小川町立檉台中学校 平山 真唯

卓上で放物線描く白球を打つラケットと共ににぎる汗

兵庫県 灘中学校 秋友 悠希

祖母の家仏さまからこっそりいつものおかしいいただきます

大阪府吹田市立南千里中学校 植村 莉子

誰もいない駅のホームに立ち尽くす春風だけがきみの友たち

静岡県静岡市立高松中学校 小林 瑞希

「惜しかった」なぐさめなんていらないうさ青空見上げる最後の試合

静岡県静岡市立高松中学校 吉野 七海

満月を見上げ眠れず夜ふけてふと考える未来の自分

大阪市立堀江中学校 中務 葵

部活後の汗にまみれたわが身体傘をささずに雨のシャワー

大阪市立堀江中学校 中野 弘介

帰省してあまり会えない従兄弟とはなまり始める五分も経てば

大阪府吹田市立青山台中学校 松木 秀磨

夏休みいろんなことを体験し人生初の字幕の映画

大阪府吹田市立青山台中学校 安井 大輝

祖母の家時間の流れゆったりと小言も減って母もゆったり

東京都東京学芸大学附属小金井中学校 石渡 丈倫

パシッパシッこの一球がいつまでも心に残る最後の試合

大阪市立野田中学校 陵本 杏乃

図書室の本を無心で手に取るそこには僕の手掛りがある

大阪市立文の里中学校 早川 隼矢

一頭の牛が出荷されて行く一日だけの職場体験

徳島県阿南市立阿南第一中学校 阿地 莞汰